



# ADRC Highlights

Vol.45

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

April 16, 2002

## ➤ 第29回 WMO/ ESCAP Panel on Tropical Cyclones に参加



3月12-18日に、ミャンマーのヤンゴンでWMO/ESCAP Panel on Tropical Cyclones が開催され、アジア防災センター所長の西川と主任研究員の荒木が参加しました。この Panel は、

ベンガル湾およびアラビア海に発生する熱帯サイクロンによって影響を受けるバングラデシュ、インド、モルジブ、ミャンマー、オマーン、パキスタン、スリランカ、タイの8カ国で構成されており、気象、水文、防災の各分野の情報交換と協力について例年会議が行われていますが、今年は特に防災についての討議を重視するということがアジア防災センターに参加依頼がありました。会議ではこの Panel に対する情報面でのADRCの協力の可能性について活発な意見交換がなされました。また、西川と荒木は、ミャンマー政府のADRCカウンターパートである、社会福祉省消防局本部とミャンマー気象庁を訪問し、今後の協力について意見交換を行いました。

## ➤ 阪神 淡路大震災記念 人と防災未来センター

未曾有の大災害をもたらした阪神・淡路大震災から7年が経過し、被災地はほぼ震災前の状況に回復しつつあります。被災地の兵庫県では、阪神・淡路大震災で得た数々の教訓を日本国内のみならず、全世界へ、また、子供たちに伝えていくため、「人と防災未来センター」の整備を進めてきましたが、いよいよ



4月27日に、アジア防災センターや国連人道問題調整事務所神戸などが立地する神戸東部新都心（HAT 神戸）の地にオープン運びとなりました。

このセンターでは、阪神・淡路大震災の発生直後から復興が進む現在までの姿を迫力ある映像で伝えるとともに、平常時には、「災害対策についての調査研究」、「防災に関する人材育成」に取り組み、災害発生時には災害対応の専門家を被災地に派遣し、専門的な助言や支援を行うこととしています。

特に映像で震災を体験できる展示コーナーは一見の価値はあり、阪神間にお越しの折には、お立ち寄りされることをお勧めします。  
(主任研究員 吉村文章)

## ➤ ADRCスタッフ紹介

### □ 管理課長 芳永 和之 (よしなが かずゆき)

この4月より兵庫県庁からの出向でアジア防災センターに勤務することになりました芳永和之と申します。入庁後は、豊岡土木事務所、環境局水質課で勤務し、震災時には世界の閉鎖性海域の環境保全に関する国際会議や情報交換を行う「国際エメックスセンター」に勤務していました。



しかし、阪神・淡路大震災により、センターが入っていたビルも崩壊し、震災直後は各種救援物資の運搬援助に携わるとともに、事務所の早期復旧に奔走していました。また、子供が避難生活の疲れからか肺炎で入院するなど苦労の絶えない日々が続きました。ただ、このような状況の中でも、近所の方との助け合いや情報交換を通じてつながりが深まったことや、海外からの多くの支援の申し出があったことなど、心温まる思い出もあり、あらためてお互いが協力し、助け合っていくことの大切さを痛感させられました。

今回、アジアにおける防災関係の仕事に携われることは、阪神・淡路大震災でいただいた世界中の人々からの支援への恩返しができる機会ととらえ、アジア地域の人々が安心して暮らせる地域づくりに微力ながら貢献していきたいと考えています。

## ➤ アジアにおける最新災害情報

### □ パプアニューギニアで地すべりによる大被害

4月2日、パプアニューギニア北部沿岸部である Morobe 地方の Markham 地区 Wantoat 地域で地すべりが発生し、10日現在9名の死亡が確認され、36名が行方不明となっています。この地域に生活するおよそ140名の人々が救援を求めています。

(PNG 政府 国家災害管理局による報告など)

### □ ベトナムの森林火災により原生林が焼失

3月23日、ベトナム南部 Ca Mau 地域にある約8,000ヘクタールの U Minh Thuong 国立公園で発生した森林火災は、4,000ヘクタールにおよぶ原生林を焼失させています。この火災により周辺に住む貧しい人々は生活を圧迫され、環境への影響、地域の生態系や種の多様性などへの影響も少なくないと考えられています。

(4/9 OCHA ReliefWeb Situation Report など)

## ➤ お知らせ：職員の異動

3月末日に、小川雄二郎顧問と青田良介主任研究員が異動になりました。小川氏は、富士常葉大学環境防災学部・防災マネジメントコースで常勤の教授として勤務されます。ただ、これからもアジア防災センターの客員研究員として、助言をしていただくこととなっています。青田氏は、派遣元の兵庫県へ戻り、防災企画課に配属となりました。

ご意見・ご要望等があれば  
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 1HDビル3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)